年内の記述対策は、知識と解法の見直しを重点に
精撰答練【頻出論点記述編】

SA/B27442

記述式20問

開　講　日

2026年
10/10(土)～12(月)
開 講

科　　目

記述式不登法・商登法
（毎回各1問出題）

回　　数

全10回

対　象　者

■ 良質な記述式問題を解いて安定した得点力の養成を図りたい方
■ 時間配分など本試験を意識した演習をしたい方
■ 登記に関する最新情報をいち早く入手したい方

使　用　教　材

●問題冊子・解説冊子〔受講料込〕
◎OnlineStudy 上への問題冊子・解説冊子、レジュメ Web アップはございません。
☆本講座で扱う問題は、一昨年に答練・模試で出題された問題を中心に改正対応して出題しております。

［板書］の取扱い
◎各自 Web 上にて閲覧・プリントアウトでご利用いただきます。
◎発送対応いたしません。

タイムスケジュール

【演習】

記述式［2問］（100分）

【解説講義】

前半解説（55分） → 後半解説（55分）

担　当　講　師



赤松　直哉
LEC専任講師

年内の記述対策は、本試験で出題頻度の高い論点を中心に構成した問題を活用して知識と解法を見直す

本答練では、過去の本試験における記述式問題の傾向を踏まえ、出題頻度の高い論点を中心に構成された問題を提供します。

記述対策を改めて見直したい方は、必須論点や問題への適切なアプローチ方法（＝「解法手順」）の習得・構築のために、記述対策の仕上げを目指す方は、ご自身の「解法手順」の検証・確認のために、本答練を是非ご活用ください。

POINT 1　受験生が確実に押さえておくべき厳選された論点

本答練で出題される論点には、合格レベルの受験生であれば確実に得点すべき基本的なものが数多く含まれています。本答練を受講することで、ご自身が**到達すべきレベルを客観的に把握**することができ、弱点補強等、今後の学習計画に役立てることができます。

POINT 2　本試験を視野に入れた時間設定

毎回、不動産登記法と商業登記法各 1 問を演習時間内に解答していただきます。

演習時間を実際の本試験での目安となる解答時間に設定することで、最終的に備えるべき解答スピードを実感いただき、**時間配分や現場対応力を身につけ**ていただくことを目的としています。

POINT 3　問題への適切なアプローチ方法（＝「解法手順」）に着目した解説講義

記述式問題を攻略するには、カギになる事実関係を正確に**「把握」し、「集約」し、「活用」すること**が、重要なポイントとなります。

本答練の解説講義では、出題された論点（知識）の説明に留まることなく、問題文の着眼点や事実関係の捉え方等、「問題へ適切にアプローチするためのポイント」に着目して、お伝えしていきます。

出題論点の詳細は二次元コードからご確認いただけます ▶

いち早く本試験の感覚に慣れるために設計された総合答練 SA/B27453

精撰答練【ファイナル編】

全問新作 択一式280問
全問新作 記述式16問
※出題範囲の公表はいたしません。

開講日

2027年
4/2(金)～4/4(日)
開講

科目

択一式全科目(毎回35問出題)

◎奇数回は午前択一科目、偶数回は午後択一科目になります。

記述式 不登法・商登法(毎回各1問出題)

回数

全8回

対象者

■ 択一式、記述式ともに本試験レベルの良問を解いておきたい方
■ 合格レベルの受験生の中での自身のレベルを知りたい方

使用教材

●問題冊子・解説冊子〔受講料込〕
◎解説冊子は各回 1 冊の製本タイプとなります。
◎OnlineStudy 上への問題冊子・解説冊子、レジュメ Web アップはございません。
●オリジナルレジュメ〔受講料込〕
[板書]の取扱い
◎各自 Web 上にて閲覧・プリントアウトでご利用いただきます。
◎発送対応いたしません。

タイムスケジュール

1・3・5・7回
【演習】
択一式[35 問](120 分) → 休憩 10分 → 記述式[2 問](110 分)
【解説講義】
択一式解説(90 分) → 記述式解説(60 分)

2・4・6・8回
【演習】
択一式［35 問］&記述式［2 問］(180 分)
【解説講義】
択一式解説(90 分) → 記述式解説(60 分)

合格に必要とされる3つの力、基礎力・応用力・現場対応力その全てを向上させる

この精撰答練［ファイナル編］は、例年多くの受験生が受講する LEC の看板総合答練です。他の受験生に差をつけられないためには必須の答練です‼ 択一式は、奇数回・偶数回とも本試験と同一の出題科目及び問題数となっていますので、模試に向けて総合力を強化してください！

POINT 1 どこよりも本試験に近い答練!!

早めに本試験感覚に慣れて頂くため、４月開講の本答練では択一式の出題問題数を本試験と同一にし、また、**出題分野・出題レベルも本試験に近く**なるようにしています。
さらに、演習量の不足しがちな記述式問題を全ての実施回で解くことができます。

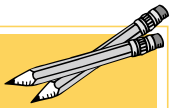
POINT 2 指導実績40年以上のLECだからできる。現場対応力を向上させる予想問題を出題!!

本答練では、出題傾向分析に基づいた予想問題を出題します。本試験と同レベルの問題を解き、必須の知識を確認することで、**択一式の「基礎力」・「応用力」を増幅**させることができ、また、本試験未出の形式による出題等もしますので、**「現場対応力」も向上**させることができます。

POINT 3 直前期を意識した解説。解説を通じて本試験での戦略を伝授!

本答練の解説講義は、単に問題の内容・正誤を説明するものではありません。「どの肢がキーポイントだったか」「どの肢を飛ばすべきなのか」といった**「効率的な解答方法」を説明**します。
本答練を受けることにより戦略面で一歩先に出ることが可能になり、他のライバル達に差をつけることができます。

LEC制作チームからメッセージ



本答練の択一式問題は本試験を意識した問題で構成し、記述式問題も同様の趣旨から総合的な問題となっています。また、偶数回は択一式と記述式の時間配分を確認する機会に最適ですので、知識の確認と併せて、本試験を意識したアウトプットを行ってみてください。

SA/B27881

全国公開模擬試験（全2回/本試験と同じ形式で出題）

実施日

第1回
4/30（金）・5/1（土）・5/2（日）
第2回
6/4（金）・6/5（土）・6/6（日）

対象者

■本試験レベルの良問を解いておきたい方
■合格レベルの受験生の中での自身の実力を知りたい方
■ 2027年の本試験合格を目指す全受験生

使用教材

●問題冊子・解説冊子〔受講料込〕

LECが誇る模擬試験で万全の本試験対策を!!

司法書士試験は、極度の緊張の中で問題を解くこととなります。そんな中で実力を十分に発揮するためには本試験と同形式・同レベル問題を解く模擬試験の受験が非常に有効です。

POINT 1 **極度の緊張感が漂う中、本試験当日のシミュレーションとして、本試験当日と同様に本模擬試験を受験できる!**

POINT 2 **たとえここで思わしくない結果が出たとしても本試験までの期間の中で客観的な自己分析で修正を図ることは十分可能です!**

SA/B27882

全国スーパー公開模擬試験（全2回/本試験と同じ形式で出題）

実施日

第1回
6/11（金）・6/12（土）・6/13（日）
第2回
6/18（金）・6/19（土）・6/20（日）

対象者

■本試験レベルの良問を解いておきたい方
■本試験当日のシミュレーションをしておきたい方
■ 2027年の本試験合格を目指す全受験生

使用教材

●問題冊子・解説冊子〔受講料込〕

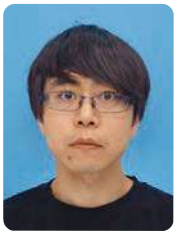
筆記試験へのラストスパートも万全に!

LEC では、今年も全国スーパー公開模擬試験を計 2 回で実施します。多くの良問を解き、より万全な状態で本試験へのラストスパートを図ってください。

POINT 1 **本模擬試験を受験し、より多くの問題・論点に触れ、知識の取りこぼし防止と共に最後の最後で大逆転を狙う!**

POINT 2 **厳選された良問を数多く解いておくことによって本試験での論点的中率も増加し、他の受験生に差をつけることが可能!**

公開模試を受けて良かった! 2025年度合格者の声



模試は、本番の緊張感と環境を忠実に想定し、シミュレーションできる機会でした。特に休憩の取り方、記述式の時間配分など、頭の中で考えているだけでは気づかない「実戦上の課題」を浮き彫りにしてくれました。結果としての点数も重要ですが、それ以上に「知識の抜け漏れ」と「解き方の癖」を確認するツールとして活用しました。間違えた論点は、全てテキストや過去問に戻り、徹底的に潰し込みました。これにより、本試験までに知識の精度を高めることができましたし、時間内に冷静に問題を処理する能力が飛躍的に向上したと実感しています。（総合1位合格　Y・Sさん）



LECの模試は非常に精度が高かったと思います。直前期に本番レベルの問題で、2,000人近い受験生の中で自分がどのような立ち位置にいるのかを知ることができます。自分のこれまでの学習に自信を持つことができ、直前期のラストスパートに弾みをつけることができました。また、教材としても非常に優れていました。過去問演習だけでは出題実績の少ない単元などが手薄なまま進んでしまうことがありますので、試験直前に本番レベルの初見の問題を解くことができ、かつ、丁寧な解説で学習の振り返りができ、非常に有用でした。（太田 愛さん）



本試験は過酷です。人生であれほど集中した5時間はなく、あれほどの緊張を感じたこともありませんでした。「本試験を受ける練習」は絶対に必要です。自分の心身にどれほどの負荷がかかり、それに耐えて実力を発揮しきることができるのか。それは実際にやってみなければ絶対に分からないし、数をこなさなければ巧くはなりません。本試験レベルの内容と充実の解説、採点サービスが付いてくるLECの模試は、他の受験者と比較した自分の実力を測る貴重な機会であり、本試験に耐えられる心身を作るために必要不可欠な、まさに訓練の場でありました。（小田切 健さん）



全科目の復習をある程度こなした段階で自分の実力を測り、本試験までに補強すべきポイントを確認できたことが、学習計画の調整にとても助かりました。模試後は復習を行い、その間違えた問題の難易度はどれくらいなのか、その問題の得点率は高いのか、チェックしていました。こうして、知識の整理と理解、難易度による得点率を感じることができるようになったため、最後には自信を持って本試験に臨むことができました。また、模試で得た緊張感や達成感は、精神面で支えとなり、合格できるメンタルを培ってくれたと思っています。（小菅 皇我さん）